

実験ノートの まちがいを 直そう ①

なまえ _____

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (ゆうきさんの ノート)

ひづけ _____

ゆうきさんが、水を 熱したり 冷やしたり して 調べた ことを、ノートに まとめました。
線を 引いた ところの うち、まちがいが 3つ あります。直すのは 線を 引いた ところだけ です。
まちがいの 番号と、直す ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。

ゆうきさんの 実験ノート

- ① 水を 熱し続けると、100℃近くで ふっとうした。
- ② ふっとうしている 水の中から 出て くる あわは、空気 だった。
- ③ ふっとうしている 間、水の 温度は あまり 上がらなかった。
- ④ 湯気を 冷たい スプーンに 当てると、スプーンに 水てき が ついた。
- ⑤ 水を入れて ふたをした 入れ物を おいて おくと、ふたの 内がわ に 水てきが ついた。
- ⑥ 水を 冷やし続けると、0℃ で こおり始めた。
- ⑦ 水が こおって 氷に なると、体積は 小さく なった。
- ⑧ 氷水を入れた コップの 外がわ についた 水てきは、空気中の 水じょう気が 冷やされて できた。
- ⑨ 水は、100℃に なった ときだけ じょうはつする。
- ⑩ せんとく物が かわくのは、水が 水じょう気 に なって 空気中に 出て いくからだ。

語群

ア 水てき イ 大きく ウ 空気 エ 100℃にならなくても
オ 水じょう気 カ 小さく キ 0℃になった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

- 1つ目 番号 → 正しい ことば
- 2つ目 番号 → 正しい ことば
- 3つ目 番号 → 正しい ことば



実験ノートの まちがいを 直そう ②

なまえ _____

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (みさきさんの ノート)

ひづけ _____

みさきさんが 別の 日に 調べた ことを、ノートに まとめました。文を 読んで、おかしいと 思う ところを見つかけよう。
線は 引いて ありません。まちがいは 4つ あります。
まちがいの 番号と、正しい ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。

みさきさんの 実験ノート

- ① 水を 熱していくと、0℃ で ふっとうが 始まった。
- ② 出て くる あわの 正体は 水じょう気 だった。
- ③ ふっとうしている 間、温度計の めもりは あまり 上がらなかった。
- ④ 氷水を入れた 入れ物の 内がわ に 水てきが ついた。
- ⑤ 水てきは 空気中の 水じょう気 が 冷えて できた。
- ⑥ 水を 冷やしていくと、0℃ で こおり始めた。
- ⑦ こおった 水は、こおり前と 体積が 同じくらい だった。
- ⑧ あたたかい 水を入れて ふたをした 入れ物をおくと、ふたの 内がわ に 水てきが ついた。
- ⑨ この 水は、0℃に なった ときだけ じょうはつする。
- ⑩ せんとく物が かわいたのは、水が 水じょう気 に 変わったからだ。

語群

ア 100℃近く イ 0℃ ウ 外がわ エ 内がわ
オ 大きく カ 同じくらい キ 100℃にならなくても ク 100℃に なった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (4つ・番号の 小さい 順)

- | | | | | |
|-----|----|----------------------|-----------|----------------------|
| 1つ目 | 番号 | <input type="text"/> | → 正しい ことば | <input type="text"/> |
| 2つ目 | 番号 | <input type="text"/> | → 正しい ことば | <input type="text"/> |
| 3つ目 | 番号 | <input type="text"/> | → 正しい ことば | <input type="text"/> |
| 4つ目 | 番号 | <input type="text"/> | → 正しい ことば | <input type="text"/> |



実験ノートの まちがいを 直そう ③

なまえ _____

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (そうたさんの ノート)

ひづけ _____

そうたさんが 別の 日に 調べた ことを、ノートに まとめました。文を 読んで、おかしいと 思う ところを見つかけよう。
線は 引いて ありません。まちがいの 数も 知らせません (0こ~2こ の どれかです)。
まちがいが あれば、番号と 正しい ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。
まちがいが 1つも 無いと 思ったら、らんは 何も 書かずに 空らんの ままで よいです。

そうたさんの 実験ノート

- ① 白い ゆげは、小さな 水てき の 集まりだった。

- ② ふっとうが 始まると、その あとの 温度は あまり 上がらなかった。

- ③ コップの 水は、100℃に ならなくても 少しずつ へった。

- ④ 冷やした かんを 外に 出すと、かんの 内がわ に 水てきが ついた。

- ⑤ こおらせた 水は、こおる前より 体積が 大きく なった。

- ⑥ お湯を あたためると、だいたい 100℃近く で ふっとうした。

- ⑦ やかんから 出る あわは、水じょう気 が 集まった ものだ。

- ⑧ 水を 冷やし続けると、0℃ くらいで こおり始めた。

- ⑨ 湯を 入れて ふたを した なべの ふたの 外がわ に 水てきが ついた。

- ⑩ ふきんが かわいたのは、水が 水じょう気 に 変わったからだ。

語群

ア 内がわ イ 外がわ ウ 水てき エ 水じょう気

まちがいが あれば、番号と 正しい ことば を (番号の 小さい 順)

1つ目 番号 → 正しい ことば

2つ目 番号 → 正しい ことば



実験ノートの まちがいを 直そう ④

なまえ _____

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (ひなたさんの ノート)

ひづけ _____

ひなたさんが調べた ことを、ノートに まとめました。線を 引いた ところのうち、まちがいが 3つ あります。
直すのは 線を 引いた ところだけです。語群は ありません。正しい ことばを 自分で 考えて 書きましょう。
まちがいの 番号と、正しい ことばを、番号の 小さい 順に 書きましょう。

ひなたさんの 実験ノート

- ① 水を 熱し続けると、0℃ で ふっとうした。
- ② 出て くる あわは、水じょう気 だった。
- ③ ふっとうが 続く 間、温度は あまり 上がらなかった。
- ④ 白い ゆげに 手を 近づけると、水てき が ついた。
- ⑤ 冷たい 水を入れた コップの 内がわ に 水てきが ついた。
- ⑥ コップの 水を 冷やすと、0℃ で こおり始めた。
- ⑦ 水が こおると、体積は 大きく なった。
- ⑧ こおった ペットボトルの 外がわ に 水てきが ついた。
- ⑨ 水は、100℃に ならなくても 少しずつ じょうはつする。
- ⑩ 水たまりが かわいたのは、水が 空気 に 変わったからだ。

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

1つ目	番号	<input type="text"/>	→ 正しい ことば	<input type="text"/>
2つ目	番号	<input type="text"/>	→ 正しい ことば	<input type="text"/>
3つ目	番号	<input type="text"/>	→ 正しい ことば	<input type="text"/>



実験ノートの まちがいを 直そう ⑤

なまえ _____

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (さくらの ノート)

ひづけ _____

さくらが調べた ことを、ノートに まとめました。線を 引いた ところのうち、まちがいが 3つ あります。
まちがいの 番号と、直す ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。直した 理由 (なぜ そう なるのか) も、1文で 書きましょう。

さくらの 実験ノート

- ① 水を 熱し続けると、100℃近く で ふっとうした。
- ② 出て くる あわの 正体は、空気 だった。
- ③ ふっとうしている 間、温度を 見ると、あまり 上がらなかった。
- ④ 冷やした 水とうの 外がわ に 水てきが ついた。
- ⑤ この 水は、100℃に ならなくても じょうはつする。
- ⑥ 水を 冷やし続けると、100℃近く で こおり始めた。
- ⑦ 水が こおって 氷に になると、体積は 大きく なった。
- ⑧ せんたく物が かわいたのは、水が 0℃に なった ときだけ じょうはつするから だ。
- ⑨ ふたを した びんの 内がわ に 水てきが ついた。
- ⑩ まどガラスの くもりの 正体は、水てき だった。

語群

ア 水じょう気 イ 空気 ウ 0℃ エ 100℃近く
オ 100℃に ならなくても カ 100℃に なった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

1つ目 番号 → 正しい ことば

わけ: _____

2つ目 番号 → 正しい ことば

わけ: _____

3つ目 番号 → 正しい ことば

わけ: _____



実験ノートの まちがいを 直そう ①【こたえ】

なまえ

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (ゆうきさんの ノート)

ひづけ

ゆうきさんが、水を 熱したり 冷やしたり して 調べた ことを、ノートに まとめました。
線を 引いた ところの うち、まちがいが 3つ あります。直すのは 線を 引いた ところだけ です。
まちがいの 番号と、直す ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。

ゆうきさんの 実験ノート

- | | |
|---|---|
| ① 水を 熱し続けると、 <u>100℃近く</u> で ふっとうした。 | ○ |
| ② ふっとうしている 水の中から 出て くる あわは、 <u>空気</u> だった。 | × |
| ③ ふっとうしている 間、水の 温度は <u>あまり 上がらなかった</u> 。 | ○ |
| ④ 湯気を 冷たい スプーンに 当てると、スプーンに <u>水てき</u> が ついた。 | ○ |
| ⑤ 水を入れて ふたをした 入れ物を おいて おくと、ふたの <u>内がわ</u> に 水てきが ついた。 | ○ |
| ⑥ 水を 冷やし続けると、 <u>0℃</u> で こおり始めた。 | ○ |
| ⑦ 水が こおって 氷に なると、体積は <u>小さく</u> なった。 | × |
| ⑧ 氷水を入れた コップの <u>外がわ</u> についた 水てきは、空気中の 水じょう気が 冷やされて できた。 | ○ |
| ⑨ 水は、 <u>100℃に なった ときだけ</u> じょうはつする。 | × |
| ⑩ せんとく物が かわくのは、水が <u>水じょう気</u> になって 空気中に 出て いくからだ。 | ○ |

語群

ア 水てき イ 大きく ウ 空気 エ 100℃にならなくても
オ 水じょう気 カ 小さく キ 0℃になった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

- | | | | | | |
|-----|----|---|-----------|---|---------------|
| 1つ目 | 番号 | ② | → 正しい ことば | オ | (水じょう気) |
| 2つ目 | 番号 | ⑦ | → 正しい ことば | イ | (大きく) |
| 3つ目 | 番号 | ⑨ | → 正しい ことば | エ | (100℃にならなくても) |

記号ではなく ことばで 書いても 正かいです。

実験ノートの まちがいを 直そう ②【こたえ】

なまえ

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (みさきさんの ノート)

ひづけ

みさきさんが 別の 日に 調べた ことを、ノートに まとめました。文を 読んで、おかしいと 思う ところを 見つけよう。
線は 引いて ありません。まちがいは 4つ あります。
まちがいの 番号と、正しい ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。

みさきさんの 実験ノート

- | | |
|---|---|
| ① 水を 熱していくと、0℃ で ふっとうが 始まった。 | × |
| ② 出て くる あわの 正体は 水じょう気 だった。 | ○ |
| ③ ふっとうしている 間、温度計の めもりは あまり 上がらなかった。 | ○ |
| ④ 氷水を入れた 入れ物の 内がわ に 水てきが ついた。 | × |
| ⑤ 水てきは 空気中の 水じょう気 が 冷えて できた。 | ○ |
| ⑥ 水を 冷やしていくと、0℃ で こおり始めた。 | ○ |
| ⑦ こおった 水は、こおり前と 体積が 同じくらい だった。 | × |
| ⑧ あたたかい 水を入れて ふたをした 入れ物をおくと、ふたの 内がわ に 水てきが ついた。 | ○ |
| ⑨ この 水は、0℃に なった ときだけ じょうはつする。 | × |
| ⑩ せんとく物が かわいたのは、水が 水じょう気 に 変わったからだ。 | ○ |

語群

ア 100℃近く イ 0℃ ウ 外がわ エ 内がわ
オ 大きく カ 同じくらい キ 100℃にならなくても ク 100℃に なった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (4つ・番号の 小さい 順)

- | | | | | | |
|-----|----|---|-----------|---|---------------|
| 1つ目 | 番号 | ① | → 正しい ことば | ア | (100℃近く) |
| 2つ目 | 番号 | ④ | → 正しい ことば | ウ | (外がわ) |
| 3つ目 | 番号 | ⑦ | → 正しい ことば | オ | (大きく) |
| 4つ目 | 番号 | ⑨ | → 正しい ことば | キ | (100℃にならなくても) |

記号ではなく ことばで 書いても 正かいです。

実験ノートの まちがいを 直そう ③【こたえ】

なまえ

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう(そうたさんの ノート)

ひづけ

そうたさんが 別の 日に 調べた ことを、ノートに まとめました。文を 読んで、おかしいと 思う ところを見つかけよう。
線は 引いて ありません。まちがいの 数も 知らせません(0こ~2こ の どれかです)。
まちがいが あれば、番号と 正しい ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号(ア・イ など)で 書きましょう。
まちがいが 1つも 無いと 思ったら、らんは 何も 書かずに 空らんの ままで よいです。

そうたさんの 実験ノート

- | | |
|---|----------------------------------|
| ① 白い ゆげは、小さな 水てき の 集まりだった。 | ☐ |
| ② ふっとうが 始まると、その あとの 温度は あまり 上がらなかった。 | ☐ |
| ③ コップの 水は、100℃に ならなくても 少しずつ へった。 | ☐ |
| ④ 冷やした かんを 外に 出すと、かんの 内がわ に 水てきが ついた。 | ☒ |
| ⑤ こおらせた 水は、こおる前より 体積が 大きく なった。 | ☐ |
| ⑥ お湯を あたためると、だいたい 100℃近く で ふっとうした。 | ☐ |
| ⑦ やかんから 出る あわは、水じょう気 が 集まった ものだ。 | ☐ |
| ⑧ 水を 冷やし続けると、0℃ くらいで こおり始めた。 | ☐ |
| ⑨ 湯を 入れて ふたを した なべの ふたの 外がわ に 水てきが ついた。 | ☒ |
| ⑩ ふきんが かわいたのは、水が 水じょう気 に 変わったからだ。 | ☐ |

語群

ア 内がわ イ 外がわ ウ 水てき エ 水じょう気

まちがいが あれば、番号と 正しい ことば を(番号の 小さい 順)

1つ目 番号 → 正しい ことば (外がわ)

2つ目 番号 → 正しい ことば (内がわ)

記号ではなく ことばで 書いても 正かいです。

実験ノートの まちがいを 直そう ④【こたえ】

なまえ

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (ひなたさんの ノート)

ひづけ

ひなたさんが 調べた ことを、ノートに まとめました。線を 引いた ところの うち、まちがいが 3つ あります。
直すのは 線を 引いた ところだけ です。語群は ありません。正しい ことばを 自分で 考えて 書きましょう。
まちがいの 番号と、正しい ことばを、番号の 小さい 順に 書きましょう。

ひなたさんの 実験ノート

- | | |
|---|---|
| ① 水を 熱し続けると、 <u>0℃</u> で ふっとうした。 | × |
| ② 出て くる あわは、 <u>水じょう気</u> だった。 | ○ |
| ③ ふっとうが 続く 間、温度は <u>あまり 上がらなかった</u> 。 | ○ |
| ④ 白い ゆげに 手を 近づけると、 <u>水てき</u> が ついた。 | ○ |
| ⑤ 冷たい 水を入れた コップの <u>内がわ</u> に 水てきが ついた。 | × |
| ⑥ コップの 水を 冷やすと、 <u>0℃</u> で こおり始めた。 | ○ |
| ⑦ 水が こおると、体積は <u>大きく</u> なった。 | ○ |
| ⑧ こおった ペットボトルの <u>外がわ</u> に 水てきが ついた。 | ○ |
| ⑨ 水は、 <u>100℃に ならなくても</u> 少しずつ じょうはつする。 | ○ |
| ⑩ 水たまりが かわいたのは、水が <u>空気</u> に 変わったからだ。 | × |

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

1つ目 番号

①

→ 正しい ことば

100℃近く

2つ目

番号

⑤

→ 正しい ことば

外がわ

3つ目

番号

⑩

→ 正しい ことば

水じょう気

ことばの いいかたが 少し ちがっていても、内容が 合っていれば 正かいです。

実験ノートの まちがいを 直そう ⑤【こたえ】

なまえ

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (さくらの ノート)

ひづけ

さくさんが 調べた ことを、ノートに まとめました。線を 引いた ところのうち、まちがいが 3つ あります。
まちがいの 番号と、直す ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。直した 理由 (なぜ そう なるのか) も、1文で 書きましょう。

さくさんの 実験ノート

- | | |
|---|---|
| ① 水を 熱し続けると、 <u>100℃近く</u> で ふっとうした。 | ○ |
| ② 出て くる あわの 正体は、 <u>空気</u> だった。 | × |
| ③ ふっとうしている 間、温度を 見ると、 <u>あまり 上がらなかった</u> 。 | ○ |
| ④ 冷やした 水とうの <u>外がわ</u> に 水てきが ついた。 | ○ |
| ⑤ この 水は、 <u>100℃に ならなくても</u> じょうはつする。 | ○ |
| ⑥ 水を 冷やし続けると、 <u>100℃近く</u> で こおり始めた。 | × |
| ⑦ 水が こおって 氷に になると、体積は <u>大きく</u> なった。 | ○ |
| ⑧ せんたく物が かわいたのは、水が <u>0℃に なった ときだけ</u> じょうはつするから だ。 | × |
| ⑨ ふたを した びんの <u>内がわ</u> に 水てきが ついた。 | ○ |
| ⑩ まどガラスの くもりの 正体は、 <u>水てき</u> だった。 | ○ |

語群

ア 水じょう気 イ 空気 ウ 0℃ エ 100℃近く
オ 100℃に ならなくても カ 100℃に なった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

1つ目 番号 ② → 正しい ことば ア (水じょう気)

わけ: ふっとうして 出て くる あわは、水が すがたを 変えた 水じょう気だから。

2つ目 番号 ⑥ → 正しい ことば ウ (0℃)

わけ: 水は 0℃で こおり始める から (100℃近くは 熱した ときに ふっとうする 温度)。

3つ目 番号 ⑧ → 正しい ことば オ (100℃に ならなくても)

わけ: 水は 100℃に ならなくても、少しずつ じょうはつしている から。

わけの いいかたは ちがっていても、内容が 合っていれば 正かいです。